



～ 輝く未来へ～

創立45周年記念館内大会

第1部記念式典 第2部学年別試合 第3部卒業生壮行会



★第1部記念式典★中学卒業生には永久門下生証の楯、小学卒業生には記念のキーホルダーが贈られました

3月12日の日曜日に少年から一般までの門下生と保護者の約300名が参加して創立45周年記念館内大会が開催されました。第一部は始めに創立以来、館の伸長、発展に多大なるご尽力を賜りました物故者に対し黙祷を捧げ、その後少年部の卒業表彰・高校・大学を卒業するOB門下生の紹介、更には昨年の4月に開催されました第64回全日本都道府県対抗剣道優勝大会に於いて、OB門下生の泉和毅君が見事全国優勝を果たし、その功績を称え錬心館より記念品が贈られ、最後は昇級者認定証の授与が行われ厳粛に第一部が終了しました。

★第1部記念式典★大学を卒業するOB門下生の代表



★高校を卒業するOB門下生の代表



★第2部学年別試合★



開会式での
一般部の皆さん

演武・木刀教室
代表 9名

第二部の学年別試合では、一戦一戦、学年ごとに一年間の稽古の成果が充分発揮され、白熱した試合が展開されました。閉会式では、まず各学年の優勝・入賞者の表彰、その後大将交代式が行われ、大将・栗原千裕君から新大将・内村日向君に錬心館の歴史と伝統が受け継がれた大将の指揮刀が手渡され、新中学3年生を中心に新たなスタートが切られました。

第三部は卒業生壮行会が行われ、卒業生から先生方・仲間・家族への心温まる感謝の言葉と後輩達への激励の言葉と共に数々の思い出が紹介されました。また卒業生保護者からは、子供達の成長を喜び、錬心館への感謝の気持ちが込められた優しい歌声とメッセージが贈られ、後輩中学生からは、この日の為に皆で気持ちを一つにして作った特大のメッセージと共に、涙・涙の歌のプレゼントがありました。そして卒業生保護者より謝辞があり、壮行会最後には、館長先生より卒業を祝い、はなむけのお言葉と、式典で撮影した記念写真が一人一人に手渡されました。卒業生は全員の先生方に激励の握手を戴きつつ、後輩達と保護者で作った花道を盛大な拍手で送られ、新たな道のりへと旅立って行きました。最後にご協力下さいました先生方・一般部・後援会の皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

行事予定

《5月》



○ 館の行事

- 14日(日) 解脱会春季大祭参加(全門下生・10時集合～13時半終了予定)
- 21日(日) 後援会主催第14回親子レクリエーション
《場所》国営昭和記念公園(東京都立川市)
《集合》午前7時20分(時間厳守)
※雨天時 茨城県自然博物館(坂東市)
- 27日(土) 剣道体験教室(13時30分～14時30分)

※稽古活動休み 3日(水・祝)～6日(土)
11日(木)～13日(土) 解脱会春季大祭の為

一般部の皆さんへ

ゴールデンウィーク期間中、道場開放致します。
5月3日(水)～5月5日(金) 10時30分～12時
尚、開放時間に稽古される場合は当日事務局にお声をお掛け下さい。

一般部合同稽古会

5月 7日(日)	15時～17時(館長特別稽古)	会場	解脱練心館
5月12日(金)	20時～21時	会場	北本宮内中体育館
5月13日(土)	19時～20時	会場	北本東中体育館

※3日間会場が違いますので、お間違えのないように参加下さい。

○ 大会・審査会

- 1日(月) 2日(火) 八段審査会(一般・京都市立体育館)
- 2日(火)～5日(金・祝) 第113回全日本剣道演武大会(一般・京都武徳殿)
- 3日(水・祝)～5日(金・祝) 東日本少年剣道交流錬成大会(小中代表・結城鹿窪体育館)
- 13日(土) 南部地区剣道交流大会(一般・大宮武道館)
- 13日(土) 14日(日) 七段、六段審査会(一般・名古屋市スポーツセンター)
- 20日(土) 第26回埼玉県高齢者剣道大会(午前・一般・県立武道館)
- 20日(土) 第21回埼玉県女子剣道選手権大会(午後・一般・県立武道館)
- 28日(日) 第72回国民体育大会成年の部予選会(一般・県立武道館)

○ 受入行事

- 13日(土) 14日(日) 第170回解脱会春季大祭(解脱会)

《6月》



○ 館の行事

- 4日(日) 剣道体験教室(剣道祭の中でチャンバラ大会を行います!)

○ 大会・審査会

- 1日(木) 埼玉連月例稽古会(県立武道館)
- 3日(土) 第44回埼玉県道場少年剣道大会(小中代表・戸田市スポーツセンター)
- 4日(日) 第34回北本市民剣道祭(小、中、高、一般・解脱練心館)
- 10日(土) 南部地区稽古会(一般・大宮武道館)
- 11日(日) 段位審査会・初～三段(熊谷市民体育館)
※学校剣道部所属者以外は直接練心館に申込みのこと。
- 17日(土) 第12回埼玉県道場少年剣道選手権大会(小中代表・吉見町民体育館)
- 18日(日) 第62回知事杯争奪剣道大会(小中代表・大和町文化体育館)
- 18日(日) 第64回埼玉県民警親睦剣道大会(一般・県立武道館)

○ 受入行事

- 4日(日) 第34回北本市民剣道祭(北本市剣道連盟)

★ 第 3 部 ・ 卒 業 生 壮 行 会 ★

★ 大 将 交 代 式 ★



栗原千裕君から新大将の内村日向君に指揮刀が引継がれ、固い握手が交わされた。



館長先生より卒業生へ贈るお言葉を頂きました。



保護者謝辞 代表 栗原ゆかりさん



卒業生保護者によるコーラス！
～瞳（大原櫻子）～



特大のメッセージと共に涙・涙の歌のプレゼント！後輩中学生から、先輩達に「思いを伝えよう！」を合言葉に沢山練習してきました。
「ひまわりの約束」（秦基博） 「～栄光の架橋～」（ゆず）



卒業生から錬心館・先生方・家族に感謝の気持ちを込めて「仰げば尊し」の合唱！



卒業おめでとう！

★ 卒 業 記 念 写 真 ★



最後は先生方と硬い握手！参加者全員で卒業生を見送り、涙・涙の旅立ち！自分を信じて輝く未来へ大きく羽ばたけ！頑張れ卒業生！！

～お知らせ～

☆入門おめでとうございます-----

小1 須永 隼人 年長 石井 楷人
 年長 石井 明 年長 渡邊 飛鳥



☆昇段おめでとうございます-----

五段 川上 宗真 (一般) 四段 中尾祐子 (一般)
 四段 福永 隆広 (一般) 三段 新井康平 (高校)
 三段 伊藤 勇太 (高校)

—平成29年2月・3月取得—

☆大会通信

2月★東日本如月剣道大会 (群馬)



中学女子 優勝
 大泉・谷口・小嶋
 中学男子 第3位
 矢部・関根・高野
 加藤・新井

★小鹿野町少年剣道大会 (小鹿野)



小学1・2年男子の部
 第3位 岡谷瑚太郎
 第3位 日置 大雅
 小学5・6年男子の部
 第3位 土性 絃大

★武陽旗関東少年剣道大会 (飯能)

混成団体 第3位
 小嶋・関根・柳・鈴木・栗原

★第3回埼玉県道場女子剣道錬成大会 (錬心館)



三段以下の部 優勝 中尾祐子
 40代の部 第3位 大野美紀子
 50代の部 第3位 三須恵里子

3月★全国選抜少年剣道錬成大会 (水戸)



敢闘賞 解脱チーム (試合場3位)
 解脱 小嶋・関根・池田・荒井・柳
 北本 内村・伊藤・田中・柳・友清

3月遠征スナップ写真 (佐賀・京都)



佐賀遠征 (小学生)



京都遠征 (中学生)

編集後記

先日の館内大会では多くの方々にご参加、お手伝いを頂きありがとうございました。お陰様で卒業門下生は新たな道のりへ旅立って行きました。OB諸君が益々成長し、また会う日を楽しみにしています。(Y)

けん おし 剣の 敵え 102

～ われ以外皆師也 ～

館長 田中 宏明

剣心一如

◆ふと気がつくと、もう桜が散り始めている。慌ただしい毎日を過ごす中で、ゆっくりと桜を楽しむ時間さえも忘れてしまっている我が身を反省しつつ、稽古に向かう。3月12日に実施された創立45周年記念館内大会で見送った卒業生諸君も、それぞれの進路へと旅立っていったが、壮行会での卒業生一人ひとりの笑顔の向こうに、数えきれないほどに流したあの日あの時の汗と涙が思い起こされ、いつものことながら胸が熱くなりました。その流した汗と涙の分だけ強く逞しく成長した卒業生諸君の益々のご精進とご活躍を心より祈念するものです。♪①遠き別れにたえかねてこの高殿(たかどの)に登るかな 悲しむなかれ我が友よ 旅の衣(ころも)をととのえよ ♪②別れといえは昔より この人の世の常なるを 流るる水を眺(なが)むれば 夢はずかしき涙かな ♪③君がさやけき目のいろも 君くれないのくちびるも 君がみどりの黒髪も またいつか見んこの別れ♪ この歌は「惜別の歌」といいます。高校時代に無理やり覚えさせられ、その後は全く忘れていたのですが、いつの頃からか自然と思い出して好きになり、毎年卒業生を送る時期になると、知らず知らずのうちに一人口ずさんでいます。今時流行らないけど、毎年中学を卒業する門下生諸君が歌ってくれる「仰げば尊し」と同じく、詩の解釈はどうあれ、真心から歌えば人の心に響くものだと信じます。◆翻って昨今は、入社一週間でもう辞めたいという新入社員が多いと聞きます。その理由はというと、「仕事が自分にむいてない。自分の個性が活かせない。もっとやりがいのある仕事がしたい。人間関係がうまくつけれない。海外で色んなものに縛られない生き方がしたい」等々だそうです。更に、何か辛いことがあると、その会社は直ぐに「ブラック企業」となるようです。これは一言でいえば自己中心の考え方からきているのだと思います。まずは理想ばかり追わず、一度すべての現実を受け入れてみることです。そこから、自分に何が求められているか？今、自分に何が出来るか？を、真剣に考えてみる事が大切です。しかし現況は、それに必要な謙虚さや忍耐力が欠如している若者が多いように感じます。何事においても、与えられることが当たり前になっていると言わざるを得ません。◆剣道は戦う相手の全てを全身全霊で受け入れ、そして向き合い、そこから初めて命のやり取りが始まります。自分勝手な打ち込みは、即負けを意味し、人を切る剣は、そのまま自分の邪心を切る剣となります。錬心館の子供達は、厳しい剣道の修行の中から、どんな相手であってもそれを受け入れることを学び、そして自己と向き合いながら「克己心」を養い、人としての大きな基盤を培っているのです。新年度を迎え、門下生諸君が錬心館の手拭いにある「与えて求めぬ太陽を己が心に学べ諸人(太陽精神)」を改めて学び、更に成長されることを心から願います。